

ロシア極東・沿海地方の銀行事情 2003～2004年

白鳥 正明

ロシアでは石油輸出増加で国内経済が好転して資金余剰が発生し、国際収支も連邦財政も黒字になり、銀行預金も貸出も増加し始めた。しかし、2003年12月公布された個人預金保険法で、預金保険に強制加入を義務付けられた銀行が中央銀行の厳しい審査を受け、財務内容の悪い銀行は認可を取消されることになった。そのためモスクワでは5月から、銀行間の相互不信で短期資金の貸し借りが減って資金が逼迫し、大銀行を含むいくつかの銀行が資金不足で営業を休止し、預金者の銀行不信も拡大した。中央銀行は金融市場に資金供給しながら、銀行審査の強化と認可取消しを続けている。本稿ではウラジオストクの新聞報道等により、ロシア極東・沿海地方の銀行事情、金融不安の影響、ロシアと中国等との国際的な銀行関係の動向について紹介する。

ロシア極東の銀行：ロシア極東連邦管区には44の銀行があり206店舗で営業しているが、そのうち61店舗が地元銀行であり、銀行総資産の約80%が14の銀行に集中されている。2003年7月1日現在、ロス・ビジネス・コンサルティング(RBC)調査の「純利益」順位で全ロシア200銀行に入っていた地元銀行は、ハバロフスク市のダリネバストクO.B.K.銀行(純利益5,190万ルーブル、111位)、レギオン・バンク(4,160万ルーブル、131位)、ダリコム・バンク(2,320万ルーブル、199位)、ウラジオストク市のダリネバストク銀行(3,950万ルーブル、137位)、ペトロパウロフスク・カムチャツキ市のカムチャト・アグロプロム・バンク(3,440万ルーブル、151位)の5銀行であった。しかし、半年後の2003年12月末には、ダリネバストク銀行、カムチャト・アグロプロム・バンク、ダリネバストクO.B.K.銀行、レギオン・バンク、の4銀行に新たにウラジオストク市のプリモリエ銀行が加わり、ダリコム・バンクは200銀行から脱落した。

(<http://www.zrpress.ru/finance/2004/0702.asp?print=1>)

ロシア極東の銀行資産と営業規模は小さく、2004年3月末現在、極東連邦管区の銀行総資産は全ロシアの0.6%にすぎなかった。中央銀行資料によると2004年6月末現在、極東連邦管内の銀行資産約406億ルーブルの順位は、ハバロフスク地方(162億ルーブル)、沿海地方(115億ルーブル)、カムチャツカ州(43億ルーブル)、サハリン州(36億ルーブル)、サハ共和国(24億ルーブル)、アムール州(14億ルーブル)、マガダン州(12億ルーブル)で、ハバロフスク地方と沿海地方の銀行に68%が集中していたが、ユダヤ人自治州とチュコト自治管区に本店のある銀行がない。

2003年～2004年上半期 沿海地方の銀行業績：中央銀行・沿海地方総局によると、2003年の沿海地方・銀行業績は好転し、年末の資産総額は92億5,040万ルーブルで前年比40.4%増加し、2004年6月末には115億ルーブル(前年末比24%増)を超えた。これは預金と貸出が2003年中に約4割、2004年上半期にルーブル預金が27%、外貨預金が約1割も増えたためである。また、銀行自己資本も利益と増資等で強化され、2003年末には11億1,750万ルーブル(前年比24.3%増)、2004年6月末には11億9,980万ルーブル(前年末比7.4%増)に増加した。2003年の個人預金増加率は前年比91.6%に対して企業・団体の預金増加率は43.6%にとどまった。2004年3月末の預金残高は78億6,420万ルーブルで2003年末比14.4%増であった。銀行間貸借取引も拡大し、2003年末の他銀行に対する短期貸しは54億4,970万ルーブルで前年末比64.3%増加し、2004年第1四半期中にも53%増加し、預金が増加しているのに他の銀行からの資金調達も増加した。しかし、2004年第2四半期にはモスクワ金融市場の銀行不信が原因で他の銀行からの短期借りが78.9%も大幅に減少した。総資産に占める貸出の比率は2002年末の50.3%から2003年末には58.9%に増えた。貸出の92.2%は非金融部門向けで、個人貸出は2003年中に2倍以上に増え、2004年3月末の貸出残高は58億ルーブルに達した。有価証券投資の76.6%が国債であるが、利回りが低いため2003年中に有価証券投資額が半減した。沿海地方の銀行利益は2003年に1億8,010万ルーブル、2004年上期には1億2,110億ルーブルに増加した。

(ZRPRESS #22 23 03 04, #39 25 05 04, #63, 17 08 04.)

消費者クレジットの普及拡大：MDMバンク(本店モスクワ)ウラジオストク支店の2003年自動車ローン実績は16件、69万6,000ドルで、金利は外貨建もルーブル建も約2%低下した。ウラジオストクの展示サロン「トヨタ・センター」では最長5年の自動車ローン受付を開始し、モスクワ銀行にもローン業務を認める予定である。自動車ローンはいくつかの銀行が既に実施しているが、ダリネバスク銀行では5万ドル以内、最長3年、年利ドル建12-14%、ルーブル建19-21%を個人事業者に限って貸付けている。自動車ローンの他、プリムソツバンクは15万ドル以内、最長3年、年利28%、保証人2人、給与証明書、パスポート写の提出を条件に消費者ローンを貸付けている。しかし、基本条件以外に多くの条件が求められ、たとえば、アグロプロム・クレジット銀行の自動車ローンは新車には頭金30%、中古車には頭金30%の他、第三者の連帯保証がなければ物的資産又は強制保険付き車輛が担保になる。融資決定には3~10日かかり、審査料や開設手数料として100~150ドルを請求される。さらに自動車ローンには平均7~10年の車齢制限もあり銀行によって異なるが、外国貿易銀行では10年以内、アグロプロム・クレジット銀行では7年で、MDMバンクとモスクワ銀行のローンは新車に限られ、ダリネバスクOBK銀行は1992年以後の年式に限っている。融資限度額も多様で、ズベルバンクは自動車価格の85%以内、外国貿易銀行は70%以内、ダリネバスクOBK銀行は50万ルーブル以内、アグロプロム・クレジット銀行は160万ルーブル又は5万ドル以内、MDMバンクは5万ドル以内である。

(ZRPRESS,#55 20 07 04.)

MDMバンクのルーブル・カードで外貨交換がウラジオストクのヒュンデ(現代)ホテルの外貨交換窓口で可能になったが、近く、ベルサイユ・ホテルでも可能になる。カードによる外貨交換メリットは24時間サービスである。MDMバンクは、5月以来の銀行不安に対応して、同行の国際決済カード所有者に全支店で現金引出しができる。

(ZRPRESS,#55 20 07 04.)

中央・地方の銀行のウラジオストク支店開設：1991年設立のアムール州ブラゴエシチェンスク本店のダリ・ヴネシトルグ・バンク(極東貿易銀行)は、現在、チタ、ハバロフスクの他、沿海地方のウスリースク市に支店があるが、ウラジオストク、アルチョーム、ナホトカにも支店を開設する計画

である。ロシア郵便公社、(株)ロシア鉄道、(株)エニセイテレコム等が大株主のクラスノヤルスク地方のケドル銀行は、モスクワ市、ロストフ・ナ・ドヌ市、ケメロボ州に支店をもち、2002年にウラジオストク支店を設置していたが、8月26日に2番目の支店を開設した。

(ZRPRESS,#63,17 08 04,#65 24 08 04.)

沿海地方の中小企業融資促進：沿海地方行政庁エフトシェンコ事業支援・投資部長は、地方法第89号を改訂して銀行の中小企業貸付けに利子補給できる法案を作成中であると述べた。これは、若年世帯用の住宅建築資金や道路建設・修理資金のような社会的事業への融資に限られる。具体的な適用銀行は未定であるが、特別入札制により決定される。

(ZRPRESS,#61,10 08 04.)

沿海地方の信用組合：銀行の個人貸出増加とともに注目されるのは信用組合の貸出である。2001年制定の消費者信用協同組合法(連邦法第117-FZ号)に基づいて、沿海地方にも信用組合が設立された。沿海地方・信用組合協会には7信用組合とイルクーツク州の1組合が参加し、他に非参加の3組合がある。信用組合は16歳以上の組合員15人以上2,000人以内が出資者になり、出資額は各組合が決定するが、1口200~500ルーブル、加入金150ルーブルで最低1~2口を出資する。沿海地方の7信用組合は、出資者(組合員)数で「プリモリエ」が最大で1,600人、「サユーズ」、「ヴレーマ」、「ロードニク」が各約200人、「ブリーズ」が36人、「ガラント」が47人であったが、事業規模は「ロードニク」が最大で貸出270万ルーブル、預金250万ルーブル、「ガラント」が貸出120万ルーブル、預金100万ルーブル、「ヴレーマ」が貸出150万ルーブル、預金160万ルーブルで、事業と出資者(組合員)数とは比例していない。平均貸出金利は年38~48%、預金金利は年20~24%であるが、中央銀行が信用組合の預金金利と貸出金利を規制しているので、金利は低下傾向にある。信用組合は法人貸出を禁止されている。貸出は組合員の事業資金が多く、生命保険契約者は貸出条件が優遇される。

(ZRPRESS,#24 30 03 04.)

農業融資の緩和：ロス・セリホズ・バンク沿海支店は農業融資条件を緩和し、農産物収穫保険と農業機械保険の契約後に融資していたのを、融資金で契約保険料の支払いができるように条件を緩和したため、多数の農家が融資を受け易くなった。融資担保の保険証券はどの保険会社でもよいが、

ロス・セリホズ・バンクが提携している保険会社7社の1社であれば、保険料が安くなる。ロス・セリホズ・バンク沿海支店は2003年沿海地方5地区の15農家に融資したが、2004年第1四半期には11地区の30戸以上の農家に融資した。農業法人には6百万ルーブル、個人農家には1百万ルーブルが融資され、金利は年20~21%であるが、3年以上の融資には年16~17%が適用されている。

(ZRPRESS ,#37 ,18 05 04 .)

連邦税務庁への銀行顧客情報提供：沿海地方の全銀行支店は近い将来、顧客情報を通信回線で沿海地方・税務検査局に提供することになる。連邦税務庁はプログラム「銀行口座」システムを完成し、すでに5連邦構成主体（地方・州など）でテストを終了した。このシステムにより、口座経由の納税を回避する納税者を規制できる他、税務当局と銀行との協力関係を確立できる。納税者の銀行口座開設、閉鎖及び口座番号の変更は直ちに税務当局に通報され、納税者口座情報の収集・計算・処理・分析システムは、税務当局に「問題銀行」経由の納税を回避し納税者口座の確認を可能にする。銀行側は手書きの書類作成や訂正を回避して情報の確度を維持できる。情報の秘密は暗号によって保持される。沿海地方の銀行は、この情報提供の特殊業務契約締結を待っている。

(ZRPRESS ,#58 29 07 04 .)

ロシア人の貯蓄動向：連邦統計庁の資料によると、2003年末現在、ロシア人の個人貯蓄総額は2兆1,420億ルーブルで前年比1.6倍であった。そのうち14.9%の約3,195億ルーブルは有価証券に投資され、35%の7,600億ルーブルが現金で保有され、半分の約1兆625億ルーブルが銀行預金であった。現金を保有するロシア人はまだ多い。

(ZRPRESS ,#26 06 04 04 .)

ロシアのアジア開発銀行出資問題：ロシアでは2003年11月連邦政府閣議で国際金融機関とくに世界銀行と欧州開発銀行との協力関係の強化が決定され、大型出資・融資の導入と国際機関への要員派遣が重視されていた。その後、石油輸出で急増するロシア中央銀行外貨準備の活用対策が課題になっていたが、去る5月20日閣議で、欧州投資銀行、北欧開発銀行、黒海開発銀行、アジア開発銀行、米州開発銀行の5地域国際金融機関との協力量針が審議され、8月1日までに経済発展省と財務省で、上記の5地域国際金融機関へのロシア出資又は追加出資、輸出市場の分析調査の実施が決

められた。とくに、アジア開発銀行加入が最も重視され、ロシア出資額は2億5千万ドル（出資比率0.53%）で多額でないのにクドリン財務長官は財源がないと否定的であった。しかし、アジア開発銀行加入は中央アジアやシベリア・極東への投融資に有利なので注目され、6月には太平洋経済協力全ロシア委員会ではアジア開発銀行が中心議題になった。

(RBC daily 21 05 2004 zrpress ,#49 29 06 2004 ,)

ロシア・中国の銀行協力とハバロフスク特別決済センター設置：ロシア外国貿易銀行と中国人民銀行（中央銀行）はハバロフスク市に特別決済センターを設置した。ロシアと中国間の決済問題を含む銀行協力は、中国人民銀行が多額の対ロシア債務を抱えていたため、長い間、未解決であった。今回の特別決済センターは、銀行コルレス勘定の一種であるが、銀行と取引先企業との手続きを簡素化し、中国との貿易決済の約30%がロシア外国貿易銀行ハバロフスク支店を経由して実施され、2004年上期の取引実績は前年同期よりも28.5%も増加した。この特別決済センターは手数料がない他、オンライン業務が可能になり、中間の取次ぎ銀行もなく、現金決済の必要もなく、送金も早くなり透明性が向上した。しかし、このような利点をどう活用するか？ロシアの銀行に中国政府が口座開設した結果がどうなるのか？まだ明確ではない。

(ZRPRESS ,#61 ,10 08 04 .)

ブラゴエシチェンスクのロシア・中国の銀行協力：ブラゴエシチェンスクのロシア商業銀行によるルーブルと人民元のコルレス決済は、ロシア中央銀行と中国人民銀行が2002年8月22日調印した「国境貿易の国際決済に関する上海協定」発効の2003年1月1日から開始された。現在、ブラゴエシチェンスク市と黒河市の銀行にはルーブル口座と人民元口座が、ダリ・ヴネシトルグ・バンク、ズベルバンク、インペクスバンク、ダリネバストクOBKの4銀行に、中国側では人民銀行、建設銀行、農工銀行の黒河支店にある。2004年第1四半期の決済実績は、コルレス勘定が開設された2003年4月から12月までの実績を超え、中国のロシア向け輸出代金ルーブル売りがロシア人の中国観光旅行代金の人民元買いを大幅に上回った。中国の「担ぎ屋」輸出は年間2億ドルと推計されるが、2003年「担ぎ屋」輸出の55%は銀行コルレス勘定経由で送金された。

(<http://kapital.zrpress.ru/finance/2004/0603/asp?print=1>)